

鶴の声

vol.10
2020.8

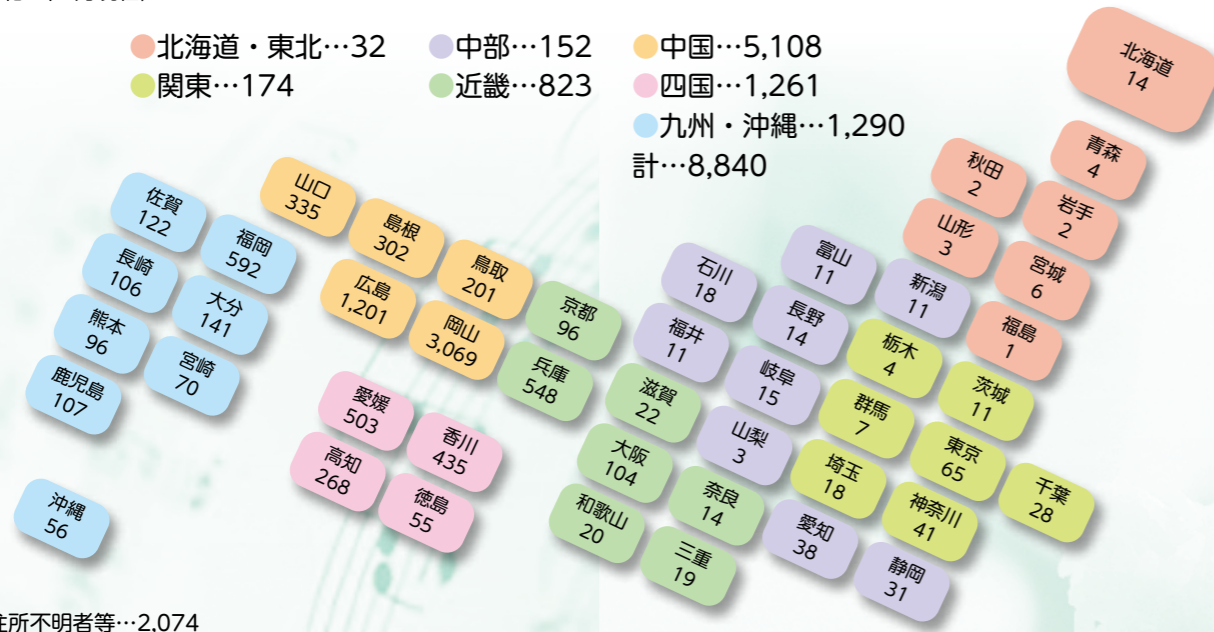
鶴声会役員紹介

会長	副会長	常任幹事	幹事
片山 嘉政	長瀬 敏和	菅付 章宏 赤松 英彦 森 博文 居川 寛子 重利 和徳 鬼本 敏男 藤澤 克彦 堀 愛美 元吉 恵子	
幹事		事務局長	事務局
板野 直子 中井 章徳 窪田 紀之 田井 志帆子 岡村 晃平 杉山 里緒	小山 陽介	武田 真理子 館 一彰	逸見 奈保 平松 朋子
書記	監査	顧問	
伊藤 諒美 高橋 万由花	徳永 晶子 室家 典子	菊井 勝 中桐 實 大林 史明 松井 輝善 井端 豊実	

各県別会員数

(令和2年6月現在)

- 北海道・東北…32
- 中部…152
- 中国…5,108
- 四国…1,261
- 九州・沖縄…1,290
- 近畿…823
- 関東…174
- 計…8,840



住所不明者等…2,074

編集staff

監修：小山 陽介
制作：館 一彰・逸見 奈保・室家 典子・平松 朋子



編集後記

会報誌「鶴の声」も第10号の発刊を迎えて非常に嬉しく思います。毎回、発刊に際し、取材協力、情報などご提供いただき大変感謝しています。今後も卒業生の活躍の様子など数多くご紹介したいと思っておりますので、情報があれば鶴声会事務局までお寄せください。

今年度も鶴声会幹事に食文化学部卒の卒業生を迎え、音楽学部・食文化学部・子ども教育学部とますます連携した体制が整いますので、より一層、情報発信や学部を超えた親睦のためのサポートができると考えています。

今年度予定されていた総会が中止になったことは非常に残念ですが、この新型コロナウイルスが早く終息して、次回総会を再び作陽の聖地津山にて開催し、皆さまとお会いできることを願っています。

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888 Fax:086-523-0811
(くらしき作陽大学代表番号)

katayama@ksu.ac.jp



TOPICS

令和2年度総会は「中止」いたします。



会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

副会長 片山 嘉政

(音楽学部音楽学科平成2年3月卒業)

令和2年2月から感染拡大が始まった新型コロナウイルスの影響で私たちの生活が一変していますが、鶴声会会員の皆さま、お変わりございませんでしょうか。

さて、鶴声会では2年に1度鶴声会総会を実施しており、今年度が実施年にあたりますが、常任幹事会で様々な実施方法を検討した結果、皆さまの安全を第1に考え非常に残念ではございますが、中止といたしました。総会を楽しみにされていた方をはじめ会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、今般の状況を鑑みでの判断ですので、何卒ご理解くださいますようよろし

くお願いいたします。なお、今年度の総会の取り扱いについては、3ページに詳細を記載しておりますので、重ねてご理解・ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

また、令和2年3月以降実施を予定していた、山口県支部総会(3月)、鹿児島県支部主催第10回スプリングコンサート(5月)、愛媛県支部主催第2回作陽音楽コンクール(8月)、広島県支部主催レクチャーコンサート(9月)、高知県支部コンサート(9月)などの県支部活動も各県支部で協議の結果、中止の判断がなされています。終息が見えない状況ですが、会員の皆さまにおかれましては引き続き鶴声会運営に対しご協力を賜りますようお願いいたします。

当面はコロナウイルスとの新しい生活スタイルになるかと思いますが、1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康とご活躍を祈念して挨拶とさせていただきます。

学長あいさつ



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

卒業生の皆さん、お元気ですか。

今年は、世界中がコロナ禍に見舞われ、世の中は大きな混乱が生じていますが、元に戻るには未だ時間がかかりそうで、不自由な生活が続いています。

本学も例外ではなく、大学の重要な行事である卒業式や入学式も、保護者、ご来賓のいない学部毎の簡素

なものとなり、学長式辞もメッセージに替え、卒業生の喜びに満ちた顔を見て送り出すことが出来ませんでした。その卒業生も今頃は社会人1年生として、それぞれの職場でいきいきと活躍してくれていると思います。

創立者松田藤子先生のことばに「順境に勝て、逆境にも勝て」というのがあります。順風満帆の時は多くの人のご恩に感謝せよということであり、逆境の時は、落ち込んだり、逃げることなく、それを契機に己を磨き、社会の向上発展のために尽くせということでもあります。何はともあれ、人間生活の基本は、家族仲良く、両親や祖父母を大切にすることであり、家庭が盤石であれば、コロナ禍も恐れることはないと思います。

「令和2年度鶴声会総会」開催について

鶴声会会員各位

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 「令和2年度鶴声会総会」開催中止のお知らせ

拝啓 会員の皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より鶴声会運営および活動に対しご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆さまご承知のとおり新型コロナウイルス(COVID-19)感染が新たな局面を迎えており、予見が難しい状況となっております。鶴声会事務局にて「令和2年度鶴声会総会」開催に向け準備を進めてきましたが、総会開催について幹事会にて改めて協議した結果、感染リスクを完全には排除できないという観点から、参加者・関係者の健康面・安全面を最優先すべきであると判断し、2020年10月24日(土)に開催を予定しておりました令和2年度鶴声会総会の開催を中止することにいたしました。

これを踏まえ、本来ならば皆さまにご出席のうえ、ご審議いただきたいところですが総会議案は幹事会による審議(10月24日予定)とし、これを総会決議に代えさせていただきます。

なお、決議内容については、幹事会審議後に文書および鶴声会ホームページにて皆さまにご報告させていただきます。

直近の状況を鑑みて慎重に検討を重ねた結果、皆さまには、大変ご迷惑をおかけすることになり、深くお詫び申し上げます。

危急の事態につき、何卒ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会事務局

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

各県支部活動のご報告

広島県支部

同窓会広島県支部総会

2020年、新年を迎えて間もない1月24日、第3回目となります同窓会鶴声会広島県支部総会を広島市内にて開催致しました。

昨年に引き続き、学長にもお越しいただき、盛大に開催することができました。ご協力いただきました大学事務局様には心より感謝申し上げます。

広島県支部の昨年度の活動と2020年度活動計画をご報告させていただき、恒例行事とさせていただきつつある、竹内京子先生によるピアノ講座に続き、新たな活動も大学にご協力いただいて始動できればと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

広島県支部長 下田 琢己



高知県支部

令和2年度 作陽高知県人会 総会

令和2年1月4日(土)総会と新年会を実施しました。

総会では鶴声会本部より、片山嘉政副会長にご臨席いただきました。

懇親会では津山よりいつも参加して下さる、高見様や正木様がお出席。

また、今回は2期生の比豫森正和様のお出席をいただきうれしい会となりました。

総会では事業報告と会計報告。

毎年2回の通信費も大きくかさみ、予算が圧迫している事。演奏会の収益はあるものの賄える状況が厳しくなってきたことから、対応策として、集客をさらに増やすこと、新聞社や文化財団に事業助成金を申し込み改善を図ることなどです。

2020年1月に計画していた2020年9月20日(日)高知県支部45周年記念演奏会は延期とさせていただき、次年度改めて計画したいと思います。

ご準備いただいていた皆さま、次年度ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

高知県支部長 池上 恭一



卒業生からの報告

作陽音楽大学第9期生同期会 (那須 生男)

2020年2月22日(土)岡山市内にて卒業後初となる同期会を開催しました。この会は1年前から「集う!繋がる!作陽音大9期生in岡山」を合言葉に準備を重ね、新型コロナウイルスが心配される中、東は群馬・神奈川、西は鹿児島・宮崎等遠方からの参加者を含め40人が集いました。

会の始まりではくらしき作陽大学同窓会鶴声会片山副会長より鶴声会・大学の様子等多方面にわたりご報告をいただき、続いて津山の学び舎を動画にまとめたDVDを鑑賞。全員による一言スピーチ。全員の登場するアルバムのプレゼン鑑賞。大いに盛り上がったところで、作陽学園歌を皮切りに「懐かしのヒットメロデー大合唱」と称し、懐かしい学生時代のヒット曲を20分にわたり大合唱して皆の心が一つになり、会の前半を締めくくりました。

そして後半は自由に席を離れ、懐かしいエピソードや今現在の様子、孫の話等で空白を埋め合いました。都合4時間の会では物足りず次回開催を合言葉に宴席を後にしました。2次会、3次会が深夜まで続いたのは当然です!



留学を終えて (長家 万純)

くらしき作陽大学卒業後、留学したフランスでは、プロニュ地方音楽院とリュエイク=マルメゾン地方音楽院のピアノ科と、パリ地方音楽院の室内楽科の学生として勉強しました。

ピアノ科に通っていた学校では、レナ・シェレシェフスカヤ先生という素晴らしい先生との出会いがあり、さまざまな年代の、さまざまな国から来た熱心なクラスメイトたちと、先生のもとで学べたことは留学して本当に良かったと思っています。

そして、室内楽科ではフルーティストの方と2年間パートナーを組ませていただき、アンサンブルの楽しさを改めて知りました。クラシック音楽が身近でコンサートなどが盛んなフランスでは、素晴らしい演奏を聴くことも、演奏するチャンスも多くあり、また人との出会いにも恵まれ、アンサンブルの機会が増えていきました。

中でも思い出に残っているのが、地方で行われたフェスティバル・アマリリスに伴奏者として参加させていただいたことです。これはフランス国内外から先生が招かれ、音楽を学んでいる子供たちや学生の方がレッスンを受講できるセミナー、そして先生方や演奏家の方々のコンサートが開かれるというものです。私はセミナー最終日の子供たちの伴奏、フルートの先生、アメリカから招かれたオーボエ、ヴァイオリンの先生の伴奏をしました。初めてお会いした方々と数日の合わせのみでコンサートをするという不安ではありましたがとても勉強になりました。少しの時間でお互いを知ろうとし、時には違う音楽性を持つ人同士と一緒に音楽をすることは難しい。それでも誰かと音楽を通じていろいろなことを共有できることはとても楽しく、新しい発見がうれしいと実感できました。

留学から完全帰国し、現在、岡山市の音楽教室でピアノの指導をしながら、くらしき作陽大学の伴奏登録者としてもお世話になっています。真摯に学ぶ学生の皆さんと演奏できることはとても勉強になり、そして初心にかえらせてもらえる思いで、とてもありがたいです。

まだまだ学ぶことがたくさんありますがこれからも出会いを大切に、より成長できるように頑張ります。



オカリナリサイタル報告 (柿内 美緒)

2020年2月、岡山と東京の2会場にてリサイタルを開催いたしました。

岡山公演では、作陽の先輩で、岡山フィルハーモニック管弦楽団のホルン奏者としても活躍されている奥村邦子さんをゲストとしてお招きし、初めてオカリナとホルンのアンサンブルに挑戦いたしました。

お客さまの中には、初めてホルンを間近で見たり聴いたりする方も多かったようですが、繊細でありながら、豊かで力強いホルンの音色とオカリナとのコラボレーションを存分にお楽しみいただけたようです。

新型コロナウイルスの心配もある中、2月中旬には東京公演を開催し、無事に5回目となるリサイタルを終えることができました。

作陽でホルンを専攻して卒業した後、長いブランクを経てオカリナ奏者としてスタートしましたが、鶴声会には活動の初期からご後援をいただき、とても励みになっています。

これからさらに経験を積み、音楽で世界に貢献できるよう頑張ります。



受賞のお知らせ



島根県体育協会 立正大学浜南高校ライフル射撃部 岡田善富賞受賞

木原 一也 さん 平成元年度 音楽学部卒業

島根県体育協会から、立正大学浜南高校ライフル射撃部顧問の木原一也さんが2019年度の岡田善富賞(最優秀指導者賞)を授与されました。

木原さんは2013年から同部を指導し、2019年9月に開催されたJOCジュニアオリンピックカップ兼第30回ISSFジュニア選手権の女子チームピストル60発競技で、1年生部員を優勝に導かれました。さらに、同部員は競技を始めて半年で、大会新記録をマークという快挙を成し遂げられました。

以下、木原さんのコメントです。

平成元年音楽学部音楽学科を卒業致しました木原一也と申します。

在学中はEuphoniumを専攻し、同期の森博文教授や元大阪市音楽団の青木健氏と共に講義を受講することが出来、大変充実した素晴らしい学生生活を送ることができました。

卒業後は立正大学浜南高等学校(島根県)の音楽科教諭として、マーチングバンド部顧問を24年間務め、全国高校総合文化祭出演や全国高校総合体育大会公開演技総指揮者としてさまざまな経験をさせていただきました。

また、2013年度よりライフル射撃部顧問に就任し、国体やJOCジュニアオリンピック大会等に監督として全国上位入賞を果たし、この度、島根県体育協会会長兼島根県知事より岡田善富賞(最優秀指導者賞)を受賞することができました。

母校の誇りを大切に、学園創設者である故松田藤子先生の教えを胸に、音楽とスポーツで元気ある日本をもう一度取り戻せるように、今後も青少年教育に誠心誠意取り組みたいと考えています。

母校の益々の発展と皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



合掌

鶴声会からのお知らせ

鶴声会ホームページのご案内

平成30年9月に同窓会ホームページを開設しました。これまで発行した同窓会会報誌、同窓会鶴声会の後援申請、卒業生の主催される演奏会、講演など順次ご案内させていただきます。

●ホームページアドレス <http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/>

●ホームページ掲載の情報提供は

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515 くらしき作陽大学 同窓会鶴声会

電話番号 086-523-0888(くらしき作陽大学代表電話番号)

E-Mail katayama@ksu.ac.jp までお願いいたします。



鶴声会后援名義使用申請について

●同窓会鶴声会后援申請の手順

イベント、演奏会、講演会などを開催する際、くらしき作陽大学同窓会鶴声会后援(名義使用)を希望される場合は、以下をご確認のうえ、お申し込みください。

1. **名義使用申請書**に必要事項を記入(押印)して、**84円切手を同封のうえ**(返信用封筒は必要ありません)、以下の郵送先まで送付してください。申請書は、鶴声会ホームページよりダウンロードし、印刷してお使いください。その際に、実施要項、企画書、趣意書、チラシなどより詳しい事業の内容がわかるものを、申請書と一緒に送ってください。

2. 申請内容をくらしき作陽大学同窓会事務局で審査いたします。受理しましたら2週間以内に**後援申請承諾書**ならびに**後援行事実施報告書**を送付いたします。

3. **後援行事実施報告書**につきましては催し物が終了後、その内容・結果についての報告書として再度ご提出ください。

●注意事項

1. 申請提出の期限は、開催日の1ヵ月前までとさせていただきます。期限が迫っている申請はお断りする場合がございます。
2. 後援申請書発送後、また承諾書発行後に、申請内容に変更があった場合は、すみやかにお知らせください。変更の内容によっては後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
3. 準備、運営等でトラブルが発生し、その原因が主催者(申請者)側の落ち度と判断される場合は後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
4. 名義後援の範囲を逸脱すると判断される、くらしき作陽大学同窓会鶴声会名義の使用があった場合は、後援承諾後でも後援を取り消す場合があります。
5. 催し物が終了後、その内容・結果について報告書をご提出ください。

新幹事就任ごあいさつ



この度、鶴声会幹事に就任いたしました、2018年3月に食文化学部栄養学科卒業の、高橋万由花(写真左)、堀愛美(写真右)です。

私たちは現在、くらしき作陽大学食文化学部の実習助手として勤務しております。本学を卒業して2年がたちますが、他学年だけでなく同学年の人ともつながりが少ない状態です。私たち自身も、管理栄養士・栄養士として就職した仲間が現在どのように活躍しているのか、情報を共有して自身のモチベーションを向上したいと考えておりました。同じように考える卒業生もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、鶴声会という場で卒業生の皆さまが食文化学部全体でつながることができる機会をもてるよう努めてまいります。微力ではございますが、何卒よろしくお祈りいたします。



本年度、青春時代を過ごした大学に教員として戻ってきて、同時に鶴声会の幹事に就任させていただきました。2005年(平成17年)3月に食文化学部食生活学科を卒業した藤澤克彦です。

日々コロナのことで落ち着かない状況ですが、皆さま元気に過ごされておりますでしょうか。まずは皆さまの無事と健康をお祈りしております。

さて、私は大学を卒業して大学院に進学し、それ以降いくつかの大学で教育を行ってきました。私自身のことを言うと、正直これまでは自分のことで精一杯で、卒業生として大学や鶴声会のために何もできていませんでした。しかし、これまで長く大学教育に携わる中で卒業生がいかに大学にとって大事で、また在學生や未来の在學生にとって大事な存在であるかを感じてきました。卒業生ときちんと関係をつくらせている大学はどこも大きく、しっかりしていて安定感があります。

卒業生の力はすごいです!

大学を繁栄させるのは、立派な教員や優秀な在學生ではありません。卒業生一人ひとりの大学を思う心だと感じます。皆さまが大学を思い、在學生のことを考えてくださることで、在學生が大学で過ごしやすくなり、社会に出るときにも安心できます。

皆さまの負担になるようなことはお祈りしません。時間がある時や近くに来られた際に大学に立ち寄り、学園祭や同窓会総会に参加してくださいますと幸いです。よろしければ大学の研究室巡りもしていただきたいです。それらが大学や在學生にとって大変大きな支えとなります。

私自身卒業生としてその役割を担えること、大変うれしく思っています。これからくらしき作陽大学がより良い大学となり、同窓生同士が楽しく輪を広げられるよう努めてまいりますので、皆さまお力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

多くの後輩たちが夢をかなえました!

子ども教育学部

子どもたちにある「いいところ」を見つけ、それを大きく伸ばしたい。教員としての使命を胸に、新たな一歩を踏み出します。

現役

公立小学校・特別支援学校 教員採用試験 合格者

(2020年4月採用)

16名
(延べ数)

現役

公立保育所(園)・幼稚園 教員採用試験 合格者

(2020年4月採用)

26名
(延べ数)

岡山県 8名	岡山県倉敷市 4名	香川県高松市 2名	高知県四万十市 1名
広島県 1名	岡山県高梁市 1名	香川県坂出市 3名	愛媛県今治市 1名
島根県 1名	岡山県玉野市 1名	香川県善通寺市 1名	愛媛県八幡浜市 1名
香川県 2名	岡山県赤磐市 2名	香川県観音寺市 1名	兵庫県神戸市 1名
愛媛県 2名	岡山県吉備中央町 1名	香川県まんのう市 1名	兵庫県加古川市 1名
熊本県 1名	広島県福山市 1名	香川県三豊市 1名	
大分県 1名	鳥取県鳥取市 1名	香川県綾川町 1名	

音楽学部

毎年、教員を目指す学生が多く入学しています。

教員採用試験に向けた充実のサポート体制のもと、本年度も22名の合格者を輩出しました。

教員採用試験 合格者

(2020年4月採用)

22名
(延べ数)

岡山県 4名	兵庫県 4名
広島県 1名	神戸市 1名
香川県 1名	北九州市 2名
愛媛県 2名	佐賀県 1名
高知県 2名	長崎県 1名
島根県 2名	鹿児島県 1名

食文化学部

全員合格を目指すために入学から4年後の受験時まで徹底した個別対応を行っています。

中四国管理栄養士養成校トップクラスの実績

第34回管理栄養士 国家試験合格者

合格率 **98.8%**
(83名/84名)

合格者 83名

学科設置からの15年間で累計1,051名を輩出しています。

